

大雨が降ったときの危険を知ろう！



水防災意識社会
再構築ビジョン

～名張市立錦生赤目小学校における防災教育～

木津川上流河川事務所

防災教育の取り組み強化の一環として、名張市立錦生赤目小学校で国土交通省（木津川上流河川事務所）が協力して河川・防災教育の授業が行われました。

10月に台風21号洪水を経験したばかりの児童たちに、「大雨が降ったときの危険と災害を防ぐための工夫」について学習しました。

- 日時：平成29年12月1日（金）8:50～12:15(理科:2時限×2クラス)
- 場所：名張市立錦生赤目小学校（5年生：41名）
- 協力：木津川上流河川事務所

台風21号洪水を踏まえて学習

名張市内にたくさんの雨が降りました



台風21号で大雨が降ったときの様子を地域の河川の様子を交え説明

名張川ではこんなに水かさが増えました



位置図



クイズ形式による学習

【問題】道路に水が浸かっています。水の深さがヒザより低いくらいなら安全に避難所へいけるかな？



【答え】×（ほとんどの児童が正解でした。）

災害を防ぐための工夫について



職員がわかりやすく説明

遊水地の仕組みと貯めることができる水の量について説明

災害を防ぐ川の施設

- ・堤防、護岸
- ・川を掘り下げる(河道掘削)
- ・遊水地
- ・ダム
- ・砂防堰堤

など

授業を受けた児童の感想

- ・大雨による災害を防ぐには工夫があり、人々が困らないように、ダムや遊水地を作っていることが分かった。
- ・危険と災害のことがよく分かった。 ・名張の川のいろいろなことが分かった。
- ・護岸や堤防、遊水地、河道掘削、砂防堰堤の意味がよく分かった。
- ・膝の下まで水がきていても、避難しない方がよいことが分かった。
- ・洪水は怖いと思った。洪水がおきたときは、高いところに行ったりしようと思った。

先生からも「子どもたちにとって身近な川のこと、直近の災害のことを取り扱っていただき、大変意義のある学びとなりました。」「来校いただき、子どもたちと直接接していただくことにより、学びの広がりや深まりが得られたと思います。」との声をいただきました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 調査課
〒518-0723 三重県名張市木屋町812-1
TEL 0595-63-1611 (代)

人々の暮らしを守り 自然を守り 川とともに生きる
木津川上流河川事務所



水防活動について



消防団の班長をしている担任の先生から台風21号の時の体験話を聞きました。

質問タイム



熱心に質問する児童たち

当日のノート

